

大学・高専機能強化支援事業（支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）  
【大学 一般枠、特例枠】実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F104110100856	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（一般枠）
大学名	東北大学	設置区分	国立	事業計画名	東北大学「情報系学位プログラムと連携した高度情報人材育成」
学校種	大学	都道府県	宮城県		

1. 年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応		
令和5年度	<p>【情報系組織の入学定員】&lt;博士&gt; 73名、&lt;修士&gt; 256名、&lt;学士&gt; 584名</p> <p>情報科学研究科情報基礎科学専攻（博士課程） 入学定員 11人                      情報科学研究科システム情報科学専攻（博士課程） 入学定員 11人                      情報科学研究科人間社会情報科学専攻（博士課程） 入学定員 10人                      情報科学研究科応用情報科学専攻（博士課程） 入学定員 10人                      工学研究科航空宇宙工学専攻（博士課程） 入学定員 11人                      工学研究科通信工学専攻（博士課程） 入学定員 8人                      工学研究科土木工学専攻（博士課程） 入学定員 12人                      情報科学研究科情報基礎科学専攻（修士課程） 入学定員 38人                      情報科学研究科システム情報科学専攻（修士課程） 入学定員 37人                      情報科学研究科人間社会情報科学専攻（修士課程） 入学定員 30人                      情報科学研究科応用情報科学専攻（修士課程） 入学定員 35人                      工学研究科航空宇宙工学専攻（修士課程） 入学定員 42人                      工学研究科通信工学専攻（修士課程） 入学定員 31人                      工学研究科土木工学専攻（修士課程） 入学定員 43人                      工学部機械知能・航空工学科 入学定員234人                      工学部電気情報物理工学科 入学定員243人                      工学部建築・社会環境工学科 入学定員107人</p> <p>【設置認可申請又は届出等の計画】</p> <p>① 大学院博士前期課程60名（情報科学研究科30名、工学研究科30名）の入学定員増申請（概算要求）                      ② 工学部40名の定員増申請（設置審、概算要求）                      ③ 中期計画を変更し、第5期中期目標期間終了時まで、40名の学部入学定員を減員する方針を記載</p> <p>【教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組】</p> <p>① 大学院・学部のカリキュラムに関する検討、決定                      ② 学生数増員のため、情報科学研究科2号館新営工事にかかる設計【1年目】</p>	<p>【情報系組織の入学定員】&lt;博士&gt; 73名、&lt;修士&gt; 256名、&lt;学士&gt; 584名</p> <p>情報科学研究科情報基礎科学専攻（博士課程） 入学定員 11人                      情報科学研究科システム情報科学専攻（博士課程） 入学定員 11人                      情報科学研究科人間社会情報科学専攻（博士課程） 入学定員 10人                      情報科学研究科応用情報科学専攻（博士課程） 入学定員 10人                      工学研究科航空宇宙工学専攻（博士課程） 入学定員 11人                      工学研究科通信工学専攻（博士課程） 入学定員 8人                      工学研究科土木工学専攻（博士課程） 入学定員 12人                      情報科学研究科情報基礎科学専攻（修士課程） 入学定員 38人                      情報科学研究科システム情報科学専攻（修士課程） 入学定員 37人                      情報科学研究科人間社会情報科学専攻（修士課程） 入学定員 30人                      情報科学研究科応用情報科学専攻（修士課程） 入学定員 35人                      工学研究科航空宇宙工学専攻（修士課程） 入学定員 42人                      工学研究科通信工学専攻（修士課程） 入学定員 31人                      工学研究科土木工学専攻（修士課程） 入学定員 43人                      工学部機械知能・航空工学科 入学定員234人                      工学部電気情報物理工学科 入学定員243人                      工学部建築・社会環境工学科 入学定員107人</p> <p>【設置認可申請又は届出等の計画】</p> <p>① 大学院博士前期課程60名（情報科学研究科30名、工学研究科30名）の入学定員増採択（概算要求）                      ② 工学部40名の定員増の認可（設置審）及び採択（概算要求）                      ③ 中期計画を変更し、第5期中期目標期間終了時まで、40名の学部入学定員を減員する方針を記載</p> <p>【教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組】</p> <p>① 大学院・学部のカリキュラムに関する検討、決定                      ② 学生数増員のため、情報科学研究科2号館新営工事にかかる設計【1年目】</p>	R5年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。	
	令和6年度	<p>【情報系組織の入学定員】&lt;博士&gt; 73名、&lt;修士&gt; 316名、&lt;学士&gt; 624名</p> <p>【開設又は定員増等の計画】</p> <p>① 情報科学研究科3専攻（博士前期課程）、工学研究科3専攻（博士前期課程）、工学部3学科で入学定員増                      ② 工学部3学科に情報特別コースを設置</p> <p>【教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組】</p> <p>① 学生数増員のため、情報科学研究科2号館新営工事にかかる設計【2年目】                      ② 学生数増員のため、情報科学研究科2号館新営工事の実施（竣工予定月：令和8年3月）【1年目】                      ③ 情報教育担当教員等の雇用</p>	<p>【情報系組織の入学定員】&lt;博士&gt; 73名、&lt;修士&gt; 316名、&lt;学士&gt; 624名</p> <p>【開設又は定員増等の計画】</p> <p>① 情報科学研究科3専攻（博士前期課程）、工学研究科3専攻（博士前期課程）、工学部3学科で入学定員増                      ② 工学部3学科に情報特別コースを設置</p> <p>【教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組】</p> <p>① 学生数増員のため、情報科学研究科2号館新営工事にかかる設計を実施【2年目】                      ② 学生数増員のため、情報科学研究科2号館新営工事に着手（竣工予定月：令和8年5月）【1年目】                      ③ 情報教育担当教員等の雇用</p>	○年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和7年度	【情報系組織の入学定員】<博士>73名、<修士>316名、<学士>624名  【設置認可申請又は届出等の計画】 ① 大学院博士後期課程6名（情報科学研究科3名、工学研究科3名）の入学定員増申請（概算要求）		○年度自己評価	リストから選択してください。
	【教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組】 ① 本事業計画の取組の継続実施 ② 大学院・学部教育に関するPDCAサイクルの実施 ③ 学生数増員のため、情報科学研究科2号館新営工事の実施【2年目】 ④ 情報教育担当教員等の雇用（継続）			
令和8年度	【情報系組織の入学定員】<博士>79名、<修士>316名、<学士>624名  【開設又は定員増等の計画】 ① 情報科学研究科2専攻（博士後期課程）、工学研究科3専攻（博士後期課程）で入学定員増		○年度自己評価	リストから選択してください。
	【教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組】 ① 本事業計画の取組の継続実施 ② 大学院・学部教育に関するPDCAサイクルの実施 ③ 情報教育担当教員等の雇用（継続）			
令和9年度	【情報系組織の入学定員】<博士>79名、<修士>316名、<学士>624名  【開設又は定員増等の計画】 ① 大学全体として令和15年度までに40名の学部学生定員減を行うことを決定 ② 第5期中期計画に、定員減を行う学部及びその人数の計画を記載		○年度自己評価	リストから選択してください。
	【教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組】 ① 本事業計画の取組の継続実施 ② 大学院・学部教育に関するPDCAサイクルの実施 ③ 情報教育担当教員等の雇用（継続）			
令和10年度	【情報系組織の入学定員】<博士>79名、<修士>316名、<学士>624名  【開設又は定員増等の計画】 ① 工学部3学科の定員増学生が大学院情報科学研究科、工学研究科に進学		○年度自己評価	リストから選択してください。
	【教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組】 ① 本事業計画の取組の継続実施 ② 大学院・学部教育に関するPDCAサイクルの実施 ③ 大学院・学部のカリキュラムに関する検証、見直し ④ 情報教育担当教員等の雇用（継続）			

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和11年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 79名、<修士> 316名、<学士> 624名		○年度自己評価	リストから選択してください。
	【教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組】 ① 本事業計画の取組の継続実施 ② 大学院・学部教育に関するPDCAサイクルの実施 ③ 大学院・学部のカリキュラムに関する継続的な検証、見直し ④ 情報教育担当教員等の雇用（継続）			
令和12年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 79名、<修士> 316名、<学士> 624名		○年度自己評価	リストから選択してください。
	① 本事業計画の取組の継続実施 ② 大学院・学部教育に関するPDCAサイクルの実施 ③ 大学院・学部のカリキュラムに関する継続的な検証、見直し ④ 情報教育担当教員等の雇用（継続）			
令和13年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 79名、<修士> 316名、<学士> 624名		○年度自己評価	リストから選択してください。
	① 本事業計画の取組の継続実施 ② 大学院・学部教育に関するPDCAサイクルの実施 ③ 助成期間終了後の事業継続体制の検討 ④ 情報教育担当教員等の雇用（継続）			
令和14年度	【情報系組織の入学定員】<博士> 79名、<修士> 316名、<学士> 624名		○年度自己評価	リストから選択してください。
	① 本事業計画の取組の継続実施 ② 大学院・学部教育に関するPDCAサイクルの実施 ③ 本事業計画の総括、検証 ④ 助成期間終了後の事業継続体制の確立 ⑤ 情報教育担当教員等の雇用（継続）			

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	東北大学
-------------	-------	-----	------

**2.申請資格の確認**

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

**3.申請要件の取組状況**

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。		
	確認を受けている		<input checked="" type="checkbox"/> チェック
	対象に該当しない		<input type="checkbox"/> チェック
②	志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。		
	計画通りに進んでいる		<input checked="" type="checkbox"/> チェック
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）		
	計画通りに進んでいる		<input checked="" type="checkbox"/> チェック
④	特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。		
	計画通りに進んでいる		<input checked="" type="checkbox"/> チェック

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	東北大学
-------------	-------	-----	------

⑤	計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。	
	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

⑥	特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。	
	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。	
	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

⑧	教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）	
	既設の情報系分野に係る研究科等を有する	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

⑨	機構による事業計画の選定があった日から2年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

⑩	計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）5名以上の入学定員の増員を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

⑪	国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第5期中期目標期間終了時まで他に他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

⑫	教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。	
	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	東北大学
-------------	-------	-----	------

⑬	文部科学省が実施する数理・データサイエンス・A I 教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。		
	認定を受けている、又は対象に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	
	認定を受ける計画が進んでいる	<input type="checkbox"/> チェック	

⑭	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	①認定を受けており支援も受けている  国際卓越研究大学として認定及び国際卓越研究大学研究等体制強化計画の認定を受け、大学ファンドからの助成が開始されたことから、R7.1.23をもって交付決定の一部取り消しがあった。	
	認定を受けておらず申請する意向もない	<input type="checkbox"/> チェック	

#### 4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

##### ① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>本学では、情報分野に関して仙台市と連携して地域企業と問題解決型の研究開発を行う「情報知能システム研究センター」を設置し、地域企業および仙台市から職員を特任教員として受け入れて事業を実施している。このセンターは今回の計画に関連した情報科学研究科および工学研究科の教員が主に運営しており、今回の計画と連携する準備ができています。</p> <p>また、工学研究科では、地域の産学官連携のための「地域連携戦略会議」を設置し、定期的に情報交換および連携のための企画運営を行っている。ここでは、東北経済産業局、仙台市、宮城県、七十七銀行、トヨタ自動車東日本、日本製鉄などから参加をいただいている。</p> <p>さらに、大学院においては、3つの学位プログラムの中ですでに多くの企業（前掲）と連携して授業を行い、また学生が長期の企業インターンシップに行く枠組みが確立している。新たな計画ではこれらの取り組みを連携させ、自治体・地域企業などと連携した授業を行う予定である。</p>	<p>本学が仙台市と連携して設置した「情報知能システム研究センター」は、今回の計画に関連した情報科学研究科及び工学研究科の教員が主に運営しており、情報分野に関して地域企業と問題解決型の研究開発を行っている。</p> <p>また、工学研究科では、地域の自治体や企業などから参加をいただいている産学官連携のための「地域連携戦略会議」を令和6年度は計6回開催し、情報交換及び連携のための企画運営を行っている。</p> <p>さらに、大学院では、3つの情報系学位プログラム（グリーン×デジタル産学共創大学院（GreDi）、人工知能エレクトロニクス卓越大学院（AIE）、データ科学国際共同大学院（GP-DS））において、既に多くの企業と連携して授業を行い、また長期の企業インターンシップの枠組みが確立している。</p> <p>加えて、本学が主幹校となっている「みちのアカデミア発共創プラットフォーム」では、仙台市等と連携したDX人材育成プログラムを実施している。</p>	

##### ② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>本学では、「みらい型 科学者の卵養成講座」として、毎年高校生約100名に「研究基礎コース」「研究発展コース」「研究推進コース」「研究重点コース」の4つのコースで科学教育講座を提供している。本プログラムは平成21年度から継続して行ってきた実績があり、これまで1,300人以上の高校生に大学レベルの科学教育を体験する機会を提供してきた。</p> <p>本プログラム採択後には、この科学者の卵養成講座と連携して、従来の理系科目に加え、AI・データサイエンス科目を科学者の卵養成講座に提供する。これにより、高度情報人材を目指す高校生が増加し、本提案での人材育成につながる高大連携プログラムを実現することができる。</p>	<p>本学では、「みらい型 科学者の卵養成講座」として、毎年高校生約100名に「研究基礎コース」「研究発展コース」「研究推進コース」「研究重点コース」の4つのコースで科学教育講座を提供している。今回の計画では、この科学者の卵養成講座と連携して、従来の理系科目に加え、AI・データサイエンス科目を科学者の卵養成講座に提供する予定である。</p> <p>また、工学研究科・工学部創造工学センターが実施している東北大学サイエンスキャンパス（宮城県教育委員会及び仙台市教育委員会後援）では、小学生、中学生、高校生を対象に、ものづくりや科学実験などの体験型科学教室を毎年20回以上行っているほか、夏休み子ども科学キャンパス（R6.8.7-8実施）及び秋休み子ども科学キャンパス（R6.10.15-16実施）を仙台市教育委員会と共同で開催し、合計276名の小学6年生児童が参加した。</p> <p>さらに、情報科学研究科及び工学研究科の情報・データ科学関連教員による高等学校における出張講義を実施している。</p>	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	東北大学
-------------	-------	-----	------

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>女子学生を増加させるための広報活動等には力を入れている。例えば、女子学生増加のための施策として、テレメール進学カタログ・新学年スタート号「リケジョのための理工系大学特集」への広告を出稿している。</p> <p>また、高校生向けの「工学部 in 東京」講演会を開催し、首都圏・関東の高校生と保護者に広く工学部の研究教育をアピールするとともに、女子高校生対象の相談会を合わせて開催する。</p> <p>留学生・帰国生徒獲得策として、海外在住／国内 IB（国際バカロレア） 校生徒向け説明会に複数回参加し、本学の魅力をアピールする。</p> <p>さらに、オープンキャンパスをオンラインおよび対面で実施し、高校生等に工学部での研究・教育内容を広く紹介して興味を喚起する。オンラインコンテンツにより、海外の学生にもアピールする内容とする。</p>	<p>女子学生を増加させるための広報活動等に力を入れており、テレメール進学カタログ・新学年スタート号「リケジョのための理工系大学特集」への広告の出稿、高校生向けの「工学部 in 東京」（R7.3.29実施）での講演会及び女子高校生・保護者向け相談会（54名参加）の開催した。</p> <p>また、令和5年度からは、女子中高生、保護者、教員を対象とするオンライン座談会「リケジョ会議」（R6年度：全3回）の開催等により、女子学生が安心して工学部への入学を希望できる環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>留学生・帰国生徒獲得策としては、海外在住／国内 IB（国際バカロレア） 校生徒向け説明会に複数回参加し、本学の魅力をアピールしている。</p> <p>さらに、オープンキャンパスを対面及びオンラインで実施（R6.7.30-31開催）し、女子中高生のためのミニフォーラム（400名参加）や留学説明会（250名参加）を開催した。</p>	

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
<p>近隣の他大学・高専とは、「学都仙台コンソーシアム」を通して単位互換制度を運用しており、今回の高度情報人材育成に関しても、単位互換制度により他大学・高専の学生を受け入れる。</p> <p>また、セキュリティ分野のプログラムであるenPiT（成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成）のBasicSecCap（学部）およびSecCap（大学院）を活用することで、セキュリティ分野の科目を他大学・高専にも提供する。</p> <p>海外の大学との連携に関しては、学位プログラムの中で連携を行っており、講師の招へい、本学学生のインターンシップ受入れなどをすでに運用中であるため、これを活用して海外インターンシップを実施する。具体的な連携校として、ケースウエスタンリザーブ大学、国立清華大学、カールスルーエ工科大学、バダボン大学、メリーランド大学、オハイオ州立大学、バデュー大学、ルーヴェン・カトリック大学、ウブサラ大学、サクロクォール・カトリック大学などとすでに連携協定を結んでいる。</p>	<p>近隣の他大学・高専と、「学都仙台コンソーシアム」を通して単位互換制度により他大学・高専の学生を受け入れ、セキュリティ分野のプログラムであるenPiT（成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成）のBasicSecCap（学部）及びSecCap（大学院）を活用し、セキュリティ分野の科目を他大学・高専にも提供している。</p> <p>令和6年度は、学都仙台で4名、BasicSecCapで53名を受け入れ、SecCapで20名を連携大学院に派遣した。</p> <p>また、X-nicsプログラム（文部科学省 次世代X-nics半導体創成拠点形成事業 スピントロニクス融合半導体創出拠点）においても、令和6年度から他大学院生の受け入れを開始しており、初年度は20名を受け入れた。</p> <p>データ科学国際共同大学院において、第10回ケースウエスタンリザーブ大学・東北大学ジョイントワークショップ（2024年8月）の開催やCase Western Reserve Universityから教授2名を招聘し、学生5名を派遣した。</p>	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	東北大学
-------------	-------	-----	------

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

区分	指摘事項等	対応状況











































大学名	東北大学	改組内容	研究科等の設置・増員 + 学部等の設置・増員（一般枠）
-----	------	------	-----------------------------

3-3. 学士課程

年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	
大区分	小区分	項目	単位																		
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	2,377	2,417	2,417															
		入学者数	人	2,444	2,499	2,463															
	その他の学期	入学定員	人	0	0																
		入学者数	人	20	20																
	入学者合計	入学定員(A)	人	2,377	2,417	2,417	TRUE	TRUE													
		入学者数(B)	人	2,464	2,519	2,463	TRUE	TRUE													
		入学定員充足率 (B/A)	倍	1.04	1.04	1.02															
	収容定員等	収容定員(C)	人	9,964	9,985	10,007															
		編入学定員	人	40	40	40															
		在籍者数(D)	人	10,644	10,720	10,733															
		編入学者数	人	39	41	46															
		収容定員充足率 (D/C)	倍	1.07	1.07	1.07															

4. 外部資金の状況（全学）

年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	53,871,010	57,475,005																	

特記事項

次の研究科専攻における「その他の学期」欄中の入学定員0は、若干名を意味する。

該当する研究科専攻：情報科学研究科情報基礎科学専攻、情報科学研究科システム情報科学専攻、情報科学研究科応用情報科学専攻、工学研究科航空宇宙工学専攻、工学研究科通信工学専攻、工学研究科土木工学専攻  
 専攻該当する学部学科：工学部機械知能・航空工学科